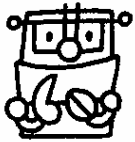


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人と動物の体 / 理解シート

トカゲのしっぽが切れると、中の骨はどうなるの^{ほね}



しっぽの骨には最初から割れ目が入っていて、そこから切れ、新しく生えるしっぽには骨はないのさ。

トカゲのしっぽは、切れてもよいつくりになっている

トカゲのしっぽの骨を調べてみると、下図のように、骨の一節ごとに特別な割れ目が入った節が並んでいます。これは、だつり節ならとよばれていて、トカゲのしっぽが切れるのは、必ず、このだつり節の割れ目の所です。

このだつり節には、膜でしきりがあり、骨にくっついている筋肉きんにくも、この割れ目の所から、きれいにはなれるようになっていきます。血もほとんど出ません。もし血が出て、しきりの膜まくで、すぐ血が止まるようになっていきます。トカゲのしっぽは、切れてもだいじょうぶなような、つくりになっていて、敵につかまったら、しっぽを残してにげ出せるのです。

新しく生えたしっぽには、骨ができない

一度とれてしまった後で生えてくるしっぽが、ほぼもと通りの大きさになるには、およそ8か月くらいかかります。また、見かけはもとのようになっても、新しいしっぽには骨はなく、管のようになったなん骨こつがあるだけです。そのため、また敵におそわれてしっぽを切るときは、前にちぎれたのと同じ所からしか、ちぎれません。

<トカゲのしっぽの骨>

